

2026年度ヤマト福祉財団助成金 募集のご案内



2025.4.22

公益財団法人ヤマト福祉財団

1. ヤマト福祉財団のご紹介

1. 概要

設立:1993年9月

設立者:小倉昌男（「クロネコヤマトの宅急便」の開発者）

目的:心身に障がいのある人々の「自立」と「社会参加」を支援すること

2. 事業

1. 助成事業

（ヤマト福祉財団助成金・奨学金の贈呈）

2. 研修・育成事業

3. 表彰事業

4. 広報・啓発等事業

5. 復興・再生支援事業



2. 障がい者給料増額支援助成金

※ 詳細は7月頃発表予定の
助成金募集要項をご確認ください。

障がいのある方の給料増額に努力し取組む事業所・施設に対し、
さらに多くの給料を支払うための事業の資金として助成

助成内容

- 助成金額: 50万円～500万円
- 助成件数: 30件程度
- 助成対象事業
 - ① 給料増額のモデルとなる効果的な事業
 - ② 既存事業を発展させ給料増額に繋がる事業
 - ③ 新規に立上げ、給料増額が見込まれる事業
 - ・ 備品等の代替、材料費等の消耗品は対象外

応募要件

- 対象: 就労継続支援A型・B型事業所、
生活介護事業所、地域活動支援センター
- 主な要件
 - ① 平均工賃月額: 18,000円以上 (A型は74,000円以上)
 - ② 2026年4月以降に開始し12月末までに購入を完了
 - ③ 自己負担金10%以上
 - ④ 2024年4月から1年の間に給料支給実績があること
 - ⑤ 2024年度以降、当助成を受けていないこと

助成総件数34件 総額1億1,146万円 (2025年度実績)

【Point】 助成による給料増額が明確であり、プロセスが具体的な計画の作成をお願いします。

3. 障がい者福祉助成金

※ 詳細は7月頃発表予定の
助成金募集要項をご確認ください。

給料増額にはこだわらず、障がいのある方の幸せにつながる事業・活動に対して助成
ボランティア団体、サークル等を含めた幅広い活動を支援

助成内容

- 助成金額: 上限100万円
- 助成件数: 20~30件程度
- 助成対象事業
 - ① 会議・講演会
 - ② ボランティア活動
 - ③ スポーツ活動・文化活動
 - ④ 調査・研究・出版

応募要件

- 対象: 2024年4月から1年間以上実績のある事業所・施設・団体（個人の活動は不可）
- 主な要件
 - ① 2026年4月以降に開始し2027年2月末までに完了
 - ② 2024年度以降、当助成を受けていないこと

助成総件数28件 総額2,029万円（2025年度実績）

【Point】波及効果が望め、かつ次年度以降も継続性が見込まれる事業・活動を優先します。

4. 応募のポイント

1. 応募方法

2025年10月1日～11月30日

当財団HPの電子申請システム(Graain～グライン※)にアクセスし入力してください。

※2025年8月頃 開設予定

2. NPOの皆さまへのお願い

◎ **既成の枠にとらわれず、自由な発想で！**

障がいのある方々が幸せを感じることを実現できる事業・企画を募集します。

◎ **第三者評価の受診を！**

日本非営利組織評価センター(JCNE)の評価認証制度や全Aネットの「優良A型事業所認定制度」などを率先して受診し、経営基盤を確実にされることを期待します。

◎ **内閣府NPOデータベースへの登録！**

毎年、適切な登録を実施してください。

日本非営利組織評価センター(JCNE)の
評価認証を取得した団体は信用が高まります。



グッドギビング

■ 評価のポイント（NPO法人COR様）^{コル}

1. 動機が明確

- ① 工賃向上による利用者の社会的・経済的自立
- ② 請負作業依存体質からの脱却
- ③ 共生社会の実現

2. プロセスが明確

- ① 明確な給料増額の目標
（具体的な栽培面積、収穫量、販売単価に基づく売上増の計算など）
- ② アスパラガスの選定
（高単価、業務負荷小、作業が単純明快、流通経路、気候、永年作物など）
- ③ 障がい者にもやさしい作業・工夫
（スマート農業、高畝の導入など）

3. 助成による給料増額の実現性が高い

- ① 農業技術センターからの技術指導
（栽培に最適なビニールハウスの設計、農業初心者でも対応可能な指導の実施など）
- ② 農業のテスト運用時より、栽培と販路の2軸を確立済み
- ③ 申請者本人が、農業と福祉の親和性や参入後の効果を実感

公益財団法人ヤマト福祉財団

2023年度障がい者給料増額支援助成



『アスパラガス栽培事業拡大による工賃向上計画』事例報告



所在地：広島県尾道市

設立：2014年

事業内容：障がい者の就労支援 地域で生き生きと働き続けることをサポート

『多機能事業所COR』（就労移行支援 定員10名・就労継続支援B型 定員10名）

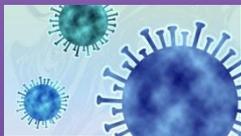
就労実績：就労移行支援…延べ59名 就労継続支援B型…延べ6名

訓練・作業：自法人作業…**農業**、お弁当製造・販売

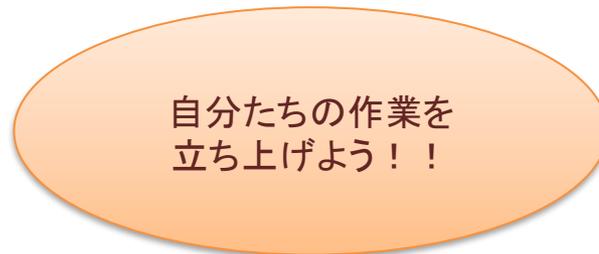
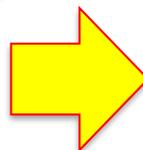
請負作業…洗い場、清掃、レコードクリーニング

平均工賃：月額39,673円（※就労移行＝43,956円 ※B型＝32,010円）

2020コロナ禍



請負作業の激減



私たちに適している作業の分野とは？



食を支える産業＝『農業』という選択



- ・農業の担い手不足や耕作放棄地の問題や食料自給率の課題等に対して、その解決に寄与できる。
- ・農業は作業内容が多岐にわたるため、個々の特性に応じた業務を細分化することで、多くの障がい者が作業に携わることができる。
- ・生きてゆく上で必要不可欠な『食』について意識を持つことは、健康な生活を維持することに役立つ。
- ・自然の中で身体活動を伴う作業は、五感が磨かれ生物本来の「生きる」機能と呼び覚まし、心身の健康を回復・維持することが期待できる。

耕作放棄地の伐採



除草 ⇒ 耕起



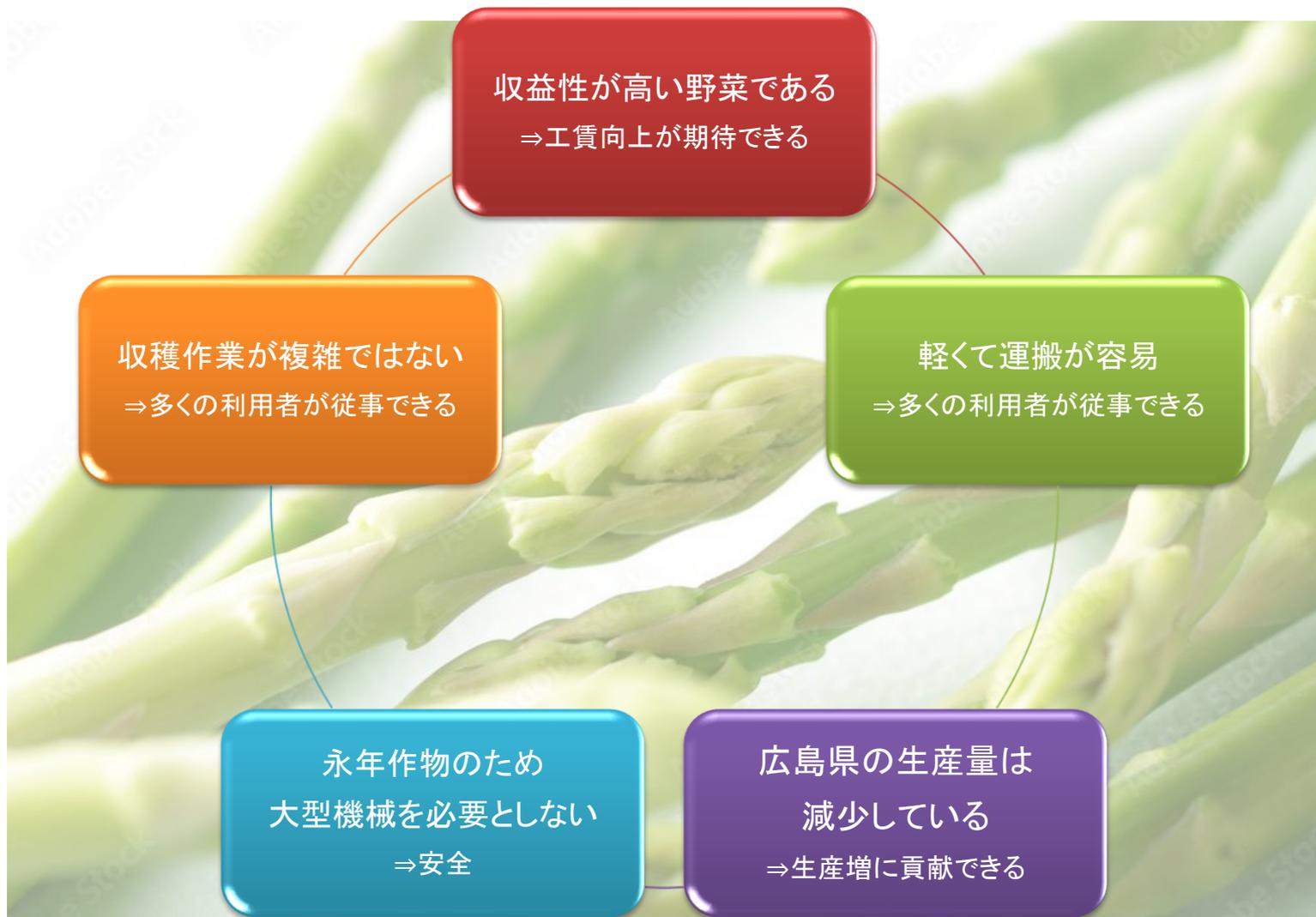
玉ねぎの定植



玉ねぎの収穫 ⇒ 販売



なぜ、アスパラガスなのか？



作業負担の軽減 & 永く続けられる農業を目指してスマート農業を導入



足場建設資材を用いた片屋根ハウス

- ・耐候性に優れる⇒台風などに強い
- ・通気性に優れる⇒作業者が涼しい
- ⇒アスパラの高温障害を低減



枠板式高畝栽培

- ・収穫作業がラク⇒作業負担軽減
- ・排水性に優れる⇒アスパラの生育良



自動室温制御

- ・アスパラの適温を維持



自動施肥装置

- ・肥料の自動管理



自動灌水指令システム

- ・土壌センサーが土の水分量をモニタリング
- ・灌水指令システムにより、アスパラに最適な水分量を維持

これらのデータを、PC・スマホで確認
広島県農業技術センターと共有

多額の設備投資資金をどのように賄うか？

助成金応募

情報収集(サイト検索・行政からの案内など)

福祉 & 農業が多く
支援されている

障がい者の収入
向上という趣旨に
沿っている



身近な存在を
感じる



チャレンジ 決心



助成事業の概要

❖ 助成対象事業

アスパラガス栽培事業拡大による工賃増額計画

(アスパラガス栽培のためのビニールハウスと制御システム機器の設置資金)

❖ 助成金額 500万円

❖ 事業総額 1285万8467円

内訳	ハウス2棟資材(灌水指令システム含)...	8,092,491円
	ハウス工事施工費用...	1,312,300円
	ドサトロン(自動施肥機器)...	96,235円
	桝板高畝資材...	679,419円
	電気工事...	429,000円
	給水配管工事...	313,500円
	井戸採掘工事...	1,935,450円

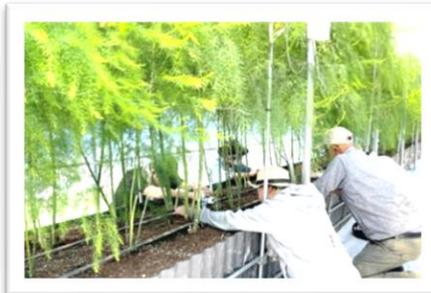


アスパラハウス



42m × 6m × 2棟 = 504㎡
アスパラガス760株

収穫作業



選果・出荷準備



(自法人店舗)

「アスパラや玉ねぎ屋」販売

- ◆ 収穫野菜の販売
- ◆ お弁当の製造販売



JA産直「ええじゃん」販売





アスパラガス収穫量(増)

- 2024年度...2,051kg (2023年410kg)前年比5倍
- 10a換算...4.1t(全国平均は約0.5t/10a)



アスパラガス販売額(増)

- 2024年度...1,837,622円 前年比4.4倍
(2023年度...412,678円 2022年度...257,809円)

工賃額推移(施設内作業,時間単価)

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019
移行(円)	260	260	260	260	260	260
B型(円)	180	200	220	240	250	250
年度	2020	2021	2022	2023	2024	
移行(円)	260	260	260	260	380	
B型(円)	250	250	250	250	380	

施設内工賃額(増)

- 2024年度施設内工賃...380円/h
- (2023年度250円/h)前年比1.5倍

効果

地域の方々と交流の 機会が増えた

- ・農園や店舗などで日常的に多くの方々と話す機会が増えた。
- ・アスパラガスやお弁当のファンとして応援して下さる。

心身の健康回復

- ・対人不安があっても、広い自然の中では作業できる人がいる。
- ・適度な身体活動が生活や体調を整えることに役立っている。

年間を通した 作業の安定

- ・アスパラ栽培には1年のサイクルがあり、安定した作業計画を立てられるようになった。
- ・結果として作業収入も安定した。



助成決定贈呈式



私たちの賛助企業が活かされています。種が温かい給付増額支援助成金

農業未経験だからこそスマート農業で稼ぐ

農業は国の重要な産業とされ、農産物の生産・流通の発展を通じて食料の安定供給が図られます。農産物の生産・流通の発展を通じて食料の安定供給が図られます。農産物の生産・流通の発展を通じて食料の安定供給が図られます。

スマート農業とは、ICT（情報通信技術）を活用して農業の生産・流通の効率化を図ることを指します。具体的には、センサーやカメラ、GPSなどの機器を用いて、農地の状態や作物の生育状況をリアルタイムで把握し、最適な管理を行うことです。

この取り組みにより、農作業の省力化や生産性の向上が期待されています。また、スマート農業の普及により、農業従事者の負担軽減や働きやすさの向上も図られています。

当助成金は、スマート農業の導入に資する設備の購入や、人材育成などに活用されています。今後も、農業の発展と持続可能な社会の実現に向けて、引き続き支援を続けてまいります。

取材 ニュースレター掲載

ネットショップ立ち上げ

らくるカート

決済も配達もネットショップで完結 / 月あたり330円(税込)から

らくるに始められるネットショップ 売

30日間無料 / 送料はクレジットで無料

らくるカート 3つの特長

その① 運用を「らくる」に

ネットグループの決済や配送など、1つの管理画面でできる様々な機能をまとめて運用

ネットショップが提供する送り状発行システムとポータルサイトで販売

配送センタースタッフさん ドライバーさんとの Face to Faceの交流



労働組合支部執行委員長
植成彰男 Series 406

労働組合支部執行委員長
三木啓輔 Series 407

人の成長に貢献できる中小企業

労働組合の役割は、労働者の権利を守り、企業と労働者の関係を円滑にすることです。また、労働者の福利厚生や教育訓練の充実にも貢献しています。

労働組合は、労働者の声を代弁し、企業と労働者の間に橋渡し役を果たしています。これにより、労働者のモチベーション向上や企業業績の向上にもつながります。

労働組合の活動は、労働者の生活の質の向上にも大きく貢献しています。また、労働者の権利を守ることで、企業の持続可能な発展にも貢献しています。



労働組合の活動は、労働者の権利を守り、企業と労働者の関係を円滑にすることです。また、労働者の福利厚生や教育訓練の充実にも貢献しています。

労働組合は、労働者の声を代弁し、企業と労働者の間に橋渡し役を果たしています。これにより、労働者のモチベーション向上や企業業績の向上にもつながります。

労働組合の活動は、労働者の生活の質の向上にも大きく貢献しています。また、労働者の権利を守ることで、企業の持続可能な発展にも貢献しています。





NPO支援財団研究会
2025年春WEBシンポジウム
4月22日(火)

社会福祉法人 読売光と愛の事業団

事例報告



社会福祉法人

読売光と愛の事業団

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞東京本社27階
電話03-3217-3473

説明 福祉助成部長
桑原 有樹

- 母体 読売新聞グループ本社 読売新聞3本社、読売巨人軍、中央公論新社、よみうりランドなど

事業団は読売新聞グループの社会貢献事業の中核を担う組織。21年8月に創立50周年を迎え、今年で54年目

▼理念 「光と愛」は共助・共生の心です。すべての人が互いの「光」となって未来へと続く道筋を灯し、ともに励まし合い、助け合い、支え合う。一人ひとりの力は小さなものかもしれませんが、しかし、ひと滴の「愛」や「善意」が幾重もの水紋となって広がり、やがては大きな流れとなることを、私たちは信じています。誰もが生きがいと誇りを失うことなく、心穏やかに暮らし、ささやかな夢をかなえられる理想社会の実現に向けて、私たちは力を尽くします。

▼法人 5つの基本方針

1. 健常者も障害者も、誰もがごく普通に生活できる共存社会を目指します。
2. 今、厳しい境遇の中で支援を必要としている子供たちの成長に寄り添いながら、未来を担う若い世代が希望を持てる社会づくりを目指します。
3. 長寿社会に向けて、お年寄りが尊厳を失わず、穏やかな人生を全うできる安心社会づくりを実践します。
4. 法人運営にあたり、法令を順守し、経営に関する情報をしっかりと公開します。専門家や第三者の意見を積極的に取り入れ、運営に反映します。
5. 職員一人ひとりが、社会福祉に取り組む自覚と倫理、専門性をしっかりと身につけ、社会や地域のために奉仕します。



読売光と愛の事業団の歩み

前身 1961年～視覚障害者支援の「読売光のプレゼント協会」
1969年～重症心身障害児や関連施設の支援の「愛のプレゼント協会」

1971年 両協会が合併、財団法人「読売光と愛の事業団」

1991年4月 点訳と朗読奉仕活動の拠点、「山路ふみ子記念・読売ボランティアセンター」を東京・目白に開設

1999年3月 読売光と愛・郡司ひさる奨学基金を設立。児童養護施設などから大学や専門学校に進学する生徒に奨学金の支給を始める

2001年11月 事業拡充のため、財団法人から社会福祉法人に組織変更

2005年3月 特別養護老人ホーム「よみうりランド花ハウス」を川崎市に開設

2012年2月 小規模特別養護老人ホーム「花ハウスすみれ館」を川崎市に開設

2014年3月 介護老人保健施設「よみうりランドケアセンター」(川崎市)を統合

理事長 水田邦雄

▼**当事業団の業務の柱は2つ。**助成事業(千代田区大手町)と、高齢者福祉事業(川崎市)。

<職員数>

▼助成事業(大手町本部) 5名
▼高齢者福祉施設事業(よみうりランド) 約300名

【助成事業】

- ・重症心身障害者を支える事業
- ・援助が必要な子どもたちを支える事業
- ・福祉作業所の工賃アップを目指す事業
- ・在宅療養のがん患者を支える事業
- ・地震、大雨など大規模な自然災害で被災された方々を支える事業
- ・その他

【高齢者福祉施設事業】

- ① 介護老人保健施設「よみうりランドケアセンター」(150床)
- ② 特別養護老人ホーム「よみうりランド花ハウス」(150床)
- ③ 小規模特別養護老人ホーム「よみうりランド花ハウスすみれ館」(29床)

2025年度 読売光と愛の事業団の助成プログラム

は春から夏にかけての募集

募集開始時期	プログラム	助成対象	事業費用
随時	被災者支援事業	能登半島地震など被災地の福祉団体、子ども支援団体等への支援	1団体50万円
5月	子ども育成支援事業	経済援助などが必要な子ども支援	同上
6月	がん患者在宅療養支援団体募集	人生最終段階の進行がん患者支援	同上
7月	読売福祉文化賞募集	新しい時代の福祉施策の取り組み	副賞100万円×6団体
同	郡司ひさる基金奨学生募集	養護施設の子どもたちの進学支援	年間1人30万円
10月	福祉作業所助成先募集	福祉作業所で働く工賃アップ支援	1団体上限50万円
11月	災害ボランティア登録団体募集	災害ボラ団体に発災後の初動に必要な経費支援	年間1団体上限50万円
	2025年度 助成事業予算は約6750万円		

【育子ども育成支援事業】の概要

▼事業の狙い：経済的に困窮する家庭の子どもの支援が主目的で、広い意味ではその家族も支える。
2018年にスタートし公募8年目。24年度は107件の申請があり、15団体に総額565万円を支給した。活動内容は所在地の読売新聞地域版で紹介

<24年度の助成団体の内訳>

- ・子ども食堂、フードパントリー計10団体
- ・学習支援（家賃等含む）3団体
- ・子ども専用電話事業（講師謝礼など）1団体
- ・居場所づくり（食提供も）1団体

▼2025年度募集開始：5月14日（水）付の読売新聞に社告を掲載し、公募開始予定

※締め切りは7月4日（金）必着

▼助成金額：1団体上限50万円。前年度より100万円増額し総額700万円

子ども育成支援事業の助成対象

※施策は経済的な困窮家庭のお子さんたちの支援が一番の狙い。将来の担い手である子どもの健全な育成に向けて、支援活動を過去3年以上にわたって続けている団体で、その内容が社会のニーズ（働き方多様化を受けた事業、不登校、自殺対策、地域格差への対応など）に応えており、計画に実現性があるもの。過去2年間に当事業団から助成を受けた団体は対象外とさせていただきます。

具体的には「衣」「食」「住（居場所）」「学習」などの確保などに向けた各種施策。

【対象事業の具体例】



- ・ 貧困家庭の子どもの**学習支援**
- ・ **子ども食堂など子どもの居場所づくり**
- ・ **不登校や引きこもりの保護者に対する支援**
- ・ **衣類等の提供**
- ・ **啓発やボランティア養成**
- ・ **絵本などの読み聞かせ活動**
- ・ **児童養護施設退所後の若者支援**

【助成内容】 1団体につき50万円を上限とし、総額700万円の助成を予定。法人格の有無は問いません。**職員給与などの人件費は全体の30%以内まで認めます。**

特定非営利活動法人子どもえんてらす様

企画の評価ポイントについて

社会福祉法人 読売光と愛の事業団

子ども育成支援事業 企画の評価ポイント

※事業団職員による書類選考→外部選考委員3人による審査で決定

評価ポイントは複合的。一つに秀でているところも目を引いて高評価に繋がる。一方でバランスに配慮した事業への高得点もなりやすい。大きく分けて以下の5点に着目している。

- ◆ **地域性**・・・地域で独自に抱える課題、地域の特徴、特性に向き合って、企画が立てられているか。地域ニーズを的確にとらえて、地域の共感を得ているか（独善的、独りよがりではないか）
- ◆ **継続性**・・・一過性のものではなく、助成金が来年度以降の団体の活動に役立つ、または仕組みづくりに寄与して次年度以降にも貢献するようなメニューがあると高評価。運営基盤の強化に寄与できているか。
- ◆ **独自性**・・・毎年同じ取り組みではなく、事業の提供方法や、理念、思想に創意工夫があって、発展性が見込まれると高評価。
- ◆ **計画性**・・・事業規模や内容を大きく広げすぎて途中で頓挫しないよう、現実的なりサーチで企画された事業かどうか。運営している母体や携わる関係者、参加者数なども見ている
- ◆ **趣旨と合致しているか**・・・経済的に困窮している家庭のお子さんの救済、支援につながっているか

特定非営利活動法人子どもえんてらす様 申請書に対する当事業団の評価

評価の高かった点

- ✓ **地域性**: 千葉県流山市は“都心から一番近い森のまち”。05年のつくばエクスプレス開業に伴い人口流入が顕著。子育て世代が増加している状況を的確にとらえ、併せて、増加する子育ての課題解決にも取り組んでいる。
- ✓ **独自性**: 単に子ども食堂で食事を提供するのではなく、子どもが食事提供に携わることで主体性をはぐくみ、やりがいを体験できる内容。ボランティア活動にも触れる機会でもあり、発展性、挑戦を感じた。誰かのためになる活動で子どもたちが元気になる、と申請書にあったが共感でき、子どもたちが生き生きと活動できそうな内容だった。
- ✓ **計画性**: 月一回の開催で無理なく準備。提供者数も120名程度と妥当。使い捨ての食器類を使い衛生面に配慮。

このほかの春募集について

▽がん患者在宅療養支援事業

在宅の患者や家族を支援するため2020年にスタート
上限50万円で5団体程度に総額250万円を助成

2025年度 6月17日（火）付の読売新聞朝刊で公募
を開始する予定

応募数が少ないので、狙い目。活動内容は読売新聞で紹介する

NPO支援財団研究会 2025春WEBシンポジウム

NPO法人子どもえんてらす事例報告

2025年4月22日
NPO法人子どもえんてらす
金川泰三

- 千葉県流山市で活動
- 8年前、市民有志10名で創立。
- 2025年1月にNPO化
- のべ支援人数 約1.3万人



私たちのパーパス

一人一人の子ども達が
自己理解と共に
自らの存在価値を感じ、
その子らしく社会に羽ばたいていく

日本の子どもに危機が迫っている

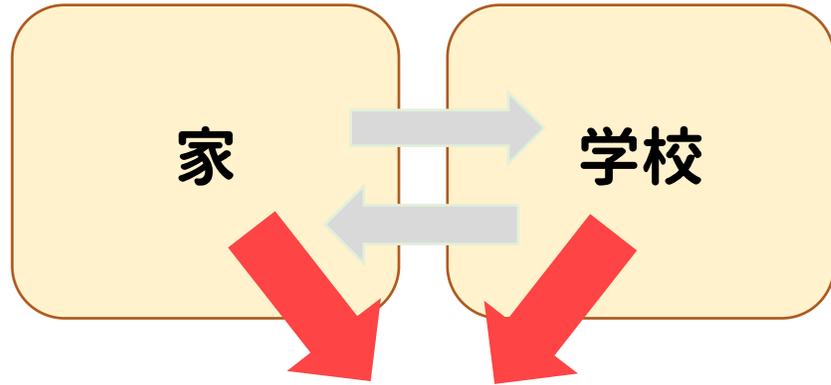
子どもの幸福度：OECDワースト2位

小中高生の自殺：1日に1.5人

不登校の数：34万人。クラスに1人

私たちは福祉×教育で子どもを包みこむ

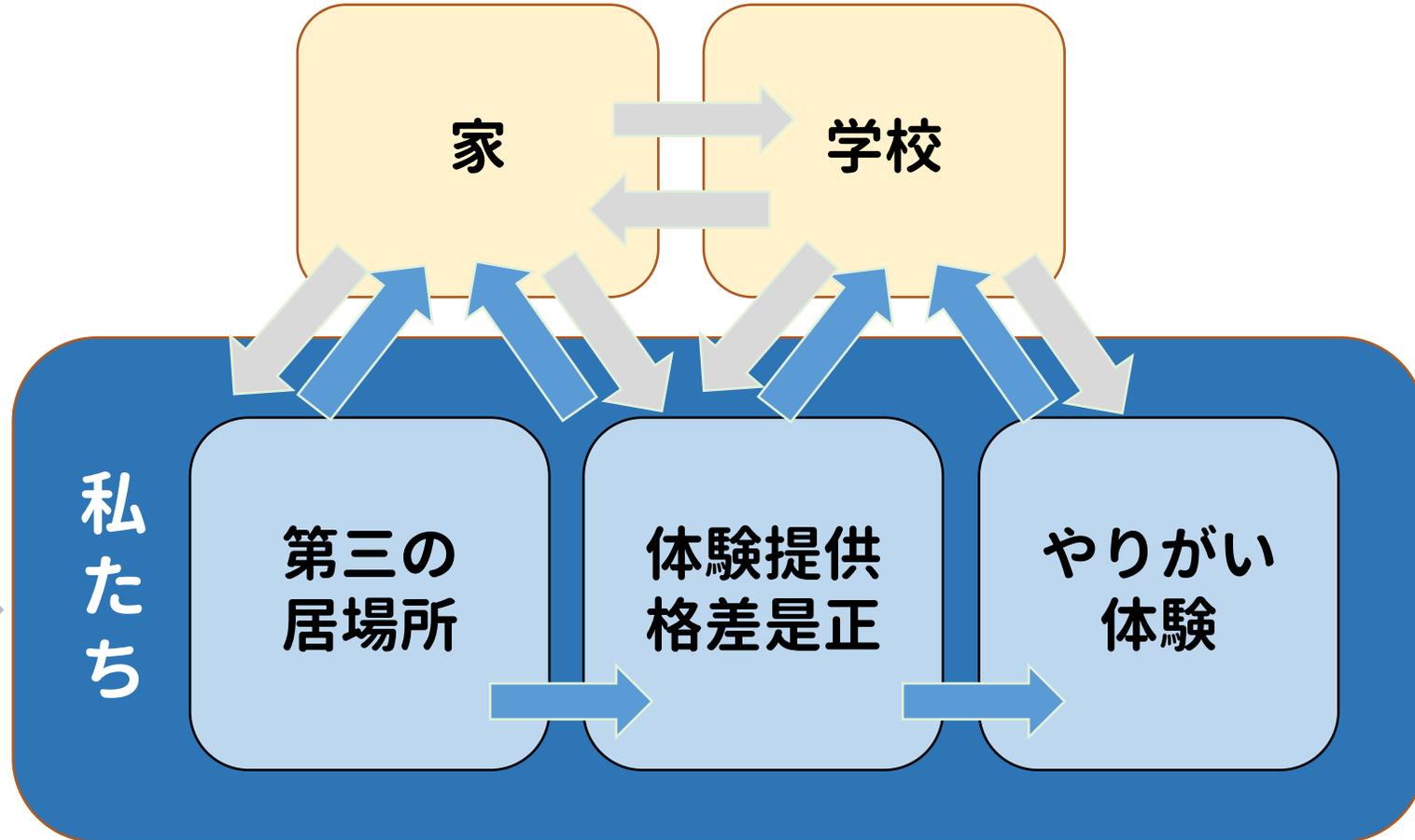
学校と家のケース



取り残される子ども達

- ・ 貧困世帯
- ・ 不登校
- ・ 学校では萎縮
- ・ 病気などの事情
- ・ 親族を含めた事情

学校と家と私たちのケース



活動は大きく3種類。8年で約200回・のべ1.3万人支援

第三の居場所



子ども食堂



学習支援



各種体験提供・格差是正



国会議事堂見学



理科体験教室



やりがい体験



子ども達による
地域交流食堂





ボランティアの子どもたちが運営
地域交流食堂「青空えんてらす」活動中

流山

今回申請したのは、
子どもたちの主体性を育む、やりがい体験

青空えんてらす

子どもたちが食堂の手伝いを通して誰かの役にたつことで
やりがいを提供し 地域の人と交流できる場として開催

助成金をどう探したか

私たちにとって、
助成金探しは「仲間探し」の旅。

ボランティア・市民活動の情報サイト

ボラ市民ウェブ

by 東京ボランティア・市民活動センター(TVAC)

+

Google

Google 検索

I'm Feeling Lucky

過去応募実績

子ども食堂→子ども食堂助成

理科体験→メーカー助成

コンサート体験→音楽関連企業助成

今回は

子どもボランティア

→子どもの社会貢献？新聞社さん関係？

見つけたとき、
仲間になってくださるかも。

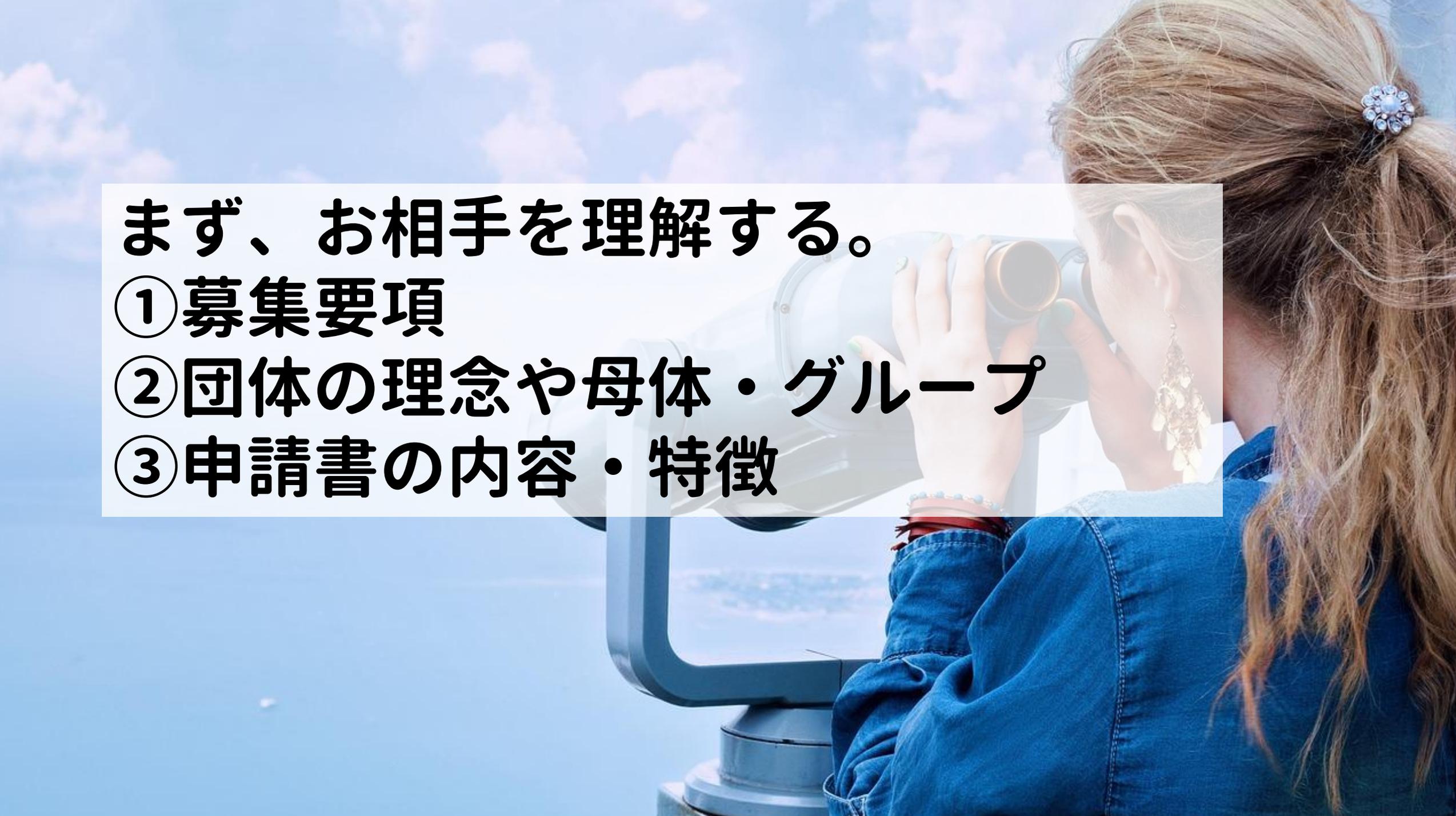


社会福祉法人
読売光と愛の事業団

もっと笑顔をふやしたい、
だれもがいきいき暮らせる社会へ



どう助成事業を理解したか？



まず、お相手を理解する。

① 募集要項

② 団体の理念や母体・グループ

③ 申請書の内容・特徴

母体が新聞社 & 団体理念 & 申請用紙 → 社会性 × 温かい取組みを求めておられそう

申請書類

申請事業の具体的内容と申請理由 (事業目的、 <u>社会的意義</u> なども)	背景:千葉県流山市は子育て世帯が増 合う意義があると決め7年前に活動開始 が調理や配膳のお手伝いをし誰かのた そこで子どもの幸福度向上のためにや
	目的:児童養護施設児童・シングル世帯 詳細:JR南流山駅前(千葉県乗降客数第 献体験できる食堂「子ども達が主役の青 家庭課から後援獲得済み。月1回12~1 流山名産のみりんを加えたカレー(120食 ※なお2024年5月19日に初回開催を行

読売光と愛の事業団法人の理念

「光と愛」は共助・共生の心です。

すべての人が互いの「光」となって未来へと続く道筋を灯し、ともに励まし合い、助け合い、支え合う。一人ひとりの力は小さなものかもしれませんが、しかし、ひと滴の「愛」や「善意」が幾重もの水紋となって広がり、やがては大きな流れとなることを、私たちは信じています。誰もが生きがいと誇りを失うことなく、心穏やかに暮らし、ささやかな夢をかなえられる理想社会の実現に向けて、私たちは力を尽くします。



今回の企画とぴったり！

私たちとぴったり！

どのように内容を企画し記載したか

**「一緒にやりませんか？」の
お誘いの気持ちで企画し書く**



お誘いの仕方

今回

①自分たちが見ている
課題や事実を書く

事情のある子ども、お手伝い
していると元気になる

②挑戦の要素を盛り込む

駅前の青空広場で
子どもが地域貢献

③課題は深刻だからこそ
明るい企画にする

JR南流山駅（千葉県第8位）
流山名物みりん・市の後援

④当たり前として
法令順守観点を押さえる

保健所確認済み・
市の許可獲得済み

書き方の具体例

申請事業の具体的内容と申請理由 (事業目的、社会的意義なども)	<p>背景:千葉県流山市は子育て世帯が増加中。その住民だからこそ子どもの幸福度向上に向き合う意義があると決め7年前に活動開始。<u>子ども食堂を継続する中で、事情のある子どもたちが調理や配膳のお手伝いをし誰かのためになることで元気になっていることに気がついた</u></p> <p>そこで子どもの幸福度向上のためにやりがいや自尊感情を育む体験も提供すべきと考えた。</p> <p>目的:児童養護施設児童・シングル世帯・困窮世帯などの子ども達の自尊感情を育むため。</p>
	<p><u>詳細:JR南流山駅前(千葉県乗降客数第8位)という社会性のある場で、子ども達が地域</u></p> <p><u>献体験できる食堂「子ども達が主役の青空地域交流食堂」を開催する。</u>なお、流山市子ども家庭課から後援獲得済み。月1回12~13時頃(※雨天中止)にJR南流山駅前南口広場で</p> <p><u>流山名産のみりんを加えたカレー(120食限定)を提供。</u>参加費は大人1名50円、子無料。</p> <p>※なお2024年5月19日に初回開催を行い125名参加。</p>

事実

挑戦

安心

明るい
企画

お誘いがうまくいかないこともある

**お誘いを書くと、
自分たちの狙いが磨かれていく**

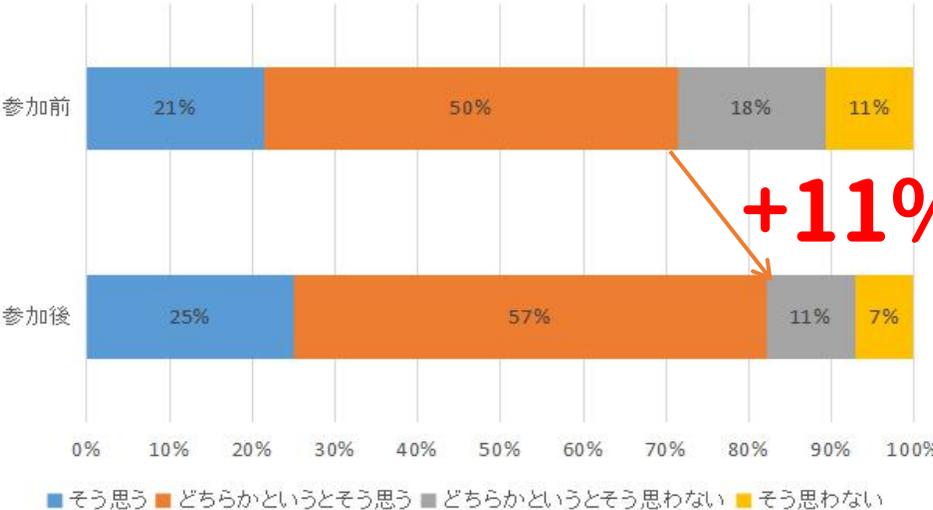
仲間探しの旅を楽しく続けましょう

最後に子ども支援関係の方へ

子どもが地域貢献活動をすることで、 子どもの自己肯定感・社会貢献の向上が判明。 子ども達に、誰かのために頑張る機会を。

自己肯定感

私は自分自身に満足している



社会貢献意識

社会に貢献できる要素があると感じた

